

令和元年度 研修会・学会等参加実績

1. 兵庫県看護協会主催研修会

研 修 会	開催日	参加者
ファーストレベル教育課程 Ⅲ期	10/10～11/7	1
ファーストレベル教育課程 Ⅳ期	11/13～12/6	1
ファーストレベルフォローアップ研修	5/15	1
医療安全における看護記録	8/30	5
災害医療	2/6	3
いざという時に慌てない！急変時のリーダーナースの役割①	7/10	1
いざという時に慌てない！急変時のリーダーナースの役割②	11/6	1
糖尿病重症化予防フットケア研修	8/19～21	1
退院支援実務者研修	10/1～10/3 12/5	1
ファシリテーター型リーダーシップ	6/6	3
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	8/6～7	2
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	9/11～12	2
多職種チームで取り組むフレイル予防	6/21	2
多職種チームで取り組むフレイル予防	11/8	2
看護実践における倫理的課題	12/6	2
実地指導研修	7/9,8/8 9/3,2/4	1
人生の最終段階における医療の決定プロセスガイドライン	7/3,7/4	1
人生の最終段階における医療の決定プロセスガイドライン	10/16,10/17	1
これからの外来看護	11/16	1
実践！エビデンスに基づいた手術看護	10/25	1
中堅ナースのキャリアマネジメント	10/28	2
看護管理者研修トップマネージャー	8/3	1
共に育つ！後輩指導に携わってみませんか	12/17	4
スタッフナースが取り組む退院支援	11/8	6
重症化予防・介護予防のためのリハビリテーションと看護	11/27	2
古川久敏先生による看護管理者研修	9/19～20	1

研 修 会	開催日	参加者
施設会員代表者会 公開講座①	8/1	1
論理的文章の書き方	1/21	2
臨地実習指導者のための実践的思考力の育成	1/9	2
ファーストレベル公開講座 人材育成の方法	6/12	1
ファーストレベル公開講座 看護サービスと記録	8/1	1
ファーストレベル公開講座 看護実践における看護倫理	11/24	1
セカンドレベル公開講座 社会保障制度	8/31	1
セカンドレベル公開講座 組織の意思決定	9/14	2
セカンドレベル公開講座 人的資源の活用	9/30	2
新人看護職員集合研修	5/28,29,30	24
誰も教えてくれない看護研究の基礎	7/26	5
発達に課題を抱える学生の理解と支援	8/14	4

2. 日本看護協会主催研修

研 修 会	開催日	参加者
高齢者の排尿障害と看護	11/21	2
看護管理者がリードする倫理的問題への組織的な対応	7/12	3
職場管理上の課題解決と効果的な提案へのプレゼンテーション	8/29・30	1
高齢者の服薬アドヒアランスを高める看護	7/19	1
主任が行うチームマネジメント	1/21,22	3
経験学習による主任のリーダーシップ開発	2/13	1
認知症を持つ人のコミュニケーション障害とその対応	8/20	1
主任のための人材育成に対する基礎知識	10/25	1
長期療養高齢者のフィジカルアセスメント①	10/10	2
主任による倫理カンファレンスの効果的な活用	8/6	1
長期療養高齢者のフィジカルアセスメント②	1/30	1

3. その他研修

研 修 会	開催日	参加者
県立病院看護部師長全体研修	10/12	8
県立病院看護部師長研修	7/27	2
県立病院看護部師長研修	8/3	3
県立病院看護部師長研修	11/30	1
県立病院看護部部長・次長研修	7/27	4
リハビリテーション看護学会 学術大会(東京)	11/9,10	7
日本環境感染学会(横浜)	2/14,15	1
リハビリテーション・ケア合同研究大会	11/21,22	3
兵庫NST合同研修プログラム	5/15～.17	1

4. 看護協会等学会

学 会	開催日	参加者
兵庫県看護協会定時総会(神戸)	6/21	6
日本手術看護学会年次大会(岡山)	10/11,12	1
研 修 会	開催日	参加者
BLSヘルケアプロバイダーコース		7
ACLSヘルケアプロバイダーコース		1

新任職員臨床研修実績(令和元年度)

5月9日	<診療・治療に関わる技術> 看護技術③ 採血	真空採血ホルダーを使用できる 静脈血採血の手順を理解でき、安全に採血できる	20	モデルの手を使用して採血手技を行った。1回で成功した人がほとんどで、タイムスケジュールどおりにでき、知識の確認・採血の成功体験は全員おこなえた。針刺しが1件あったため、来年度に向け対策を立てた。	阿部補佐 入江補佐 東江補佐 竹井補佐
5月16日	<診療・治療に関わる技術> くすりの見方	安全確実に薬物療法を行うための知識・技術を持って与薬援助が出来る 当院での基本的な内服薬の与薬準備が出来る	20	実際に薬が処方箋と合っているか配薬ボックスを2人1個使用し確認して薬を取り出し配薬準備をした。 困ったときにはどうするのか演習時質問したが応用が薄い。演習後に処方箋はファイルから取り出して確認する事、薬は薬を一つ一つ出すのではなく朝・昼・夕のボックス事取り出して確認する事等講義で説明したことが出来ていなかったため再度説明した。	繁田補佐 入江補佐 米分補佐
	夜勤に向けての説明会	夜勤に向けて健康・安全・生活への影響を知り、自己の健康管理ができる	24	夜勤についての講義、仮眠室、保安室等夜勤に関わる場所を見学する。夜勤の見学については2グループに分けて、保安前からスタートするグループと更衣室からスタートするグループに分けて行う事で、よりわかりやすかった。リフレクションでは、夜勤のイメージが出来たという声があった。	
5月29日	看護記録について	当院での看護記録について理解できる フォーカスチャーティングの理解を深め、記録することができる	24	グループワークを通して、フォーカスチャーティングを基本とした記入方法について話し合いを行った。当院での看護記録について理解できた。グループワークでフォーカスチャーティングの理解を深め、記録することができるは達成できた。	小村補佐 松本補佐
6月12日	医療機器の取り扱い (シリンジポンプ・輸液ポンプ)	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作手順を理解する 輸液ポンプ・シリンジポンプの操作時の注意点を理解し安全に操作できる。	23	業者により輸液ポンプ、シリンジポンプの操作手順と注意点について講義を受け操作を練習する。ポンプ使用時の看護について講義する。講義と実技の部屋を分けることで、講義に集中できた。輸液ポンプ、シリンジそれぞれで講義と演習を行ったためイメージがつきやすく、また1人1回は操作できる時間があり学びを深めることができた。	業者主催 (テルモ) 入江補佐 高瀬補佐 松本補佐
7月3日	医療機器の取り扱い (モニター)	モニターの操作手順を理解する モニターを適切に使用できる モニターを使用中の看護がわかる	23	モニターの操作と注意点について講義を受け、モニターの操作を練習する。 研修時間は十分であり、演習では1人1回基本操作を行えた。アラーム音に反応するようにと病棟では指導を受けているが内容が曖昧であった様子、今回の研修でアラームの種類を学び迅速な対応と器械テープ類による皮膚障害などのリスク対応が必要と認識することができた。	繁田補佐 高瀬補佐
7月17日	<研修の振り返り・フォローアップ> 3か月の振り返り	看護師としての3ヶ月間を振り返る 仲間との交流を通して、心のリフレッシュができエンパワーする機会とする	24	3ヶ月を振り返り、嬉しかったこと、良かったこと、困ったことをグループワークで話し合い発表する。プリセプターへのメッセージカードを作成する。新卒者にとっては、3ヶ月間を振り返り思いを共有でき、研修のねらいは達成できた。グループワークや発表を通して、自分達の経験や思いを共感することが出来、今後のモチベーションにも繋げることが出来た。	入江補佐 阿部補佐
8月14日	<診療・治療に関わる技術> 薬剤について	薬剤に対する知識を深める。 事例を通して、与薬の基本を再確認できる	24	講義:①医薬品の服用時間と方法、②薬の相互作用、③院内医薬品の取り扱いについて、④医療事故についてを学ぶ。グループワーク:間違いのおこりやすい事例を通して、与薬の基本を再確認する。 積極的に意見を言っていた。	米田薬剤部長 阿部補佐 田中補佐
9月6日	移乗・移動介助技術	移乗・移動の介助技術を学ぶ 移乗・移動の介助技術を日常の看護に活かすことができる	25	講義の中に実習を組み込みながら行う。ベッド⇄車椅子移乗、ベッドからの起き上がり介助、スライディングボード・シートの使用を練習する。事前課題として、日常の看護の中で困っていることや不安に思っていること、知りたいことなどを提出してもらい、その内容を講義に取り入れてもらうことで、実践と結びつくことができた。内科と整形外科に分かれてグループワークをおこなったため、説明がしやすかった。	安田理学療法士 松本補佐

9月18日	看護倫理	看護倫理の概念(看護における倫理綱領)が理解できる 看護実践のなかでの倫理的問題に気づくことができる	25	グループワークを行い、事前課題「自身の最近の勤務の中で患者を大切にできたと思ったこと。」「自身の最近の勤務の中で患者を大切にできなかったと思ったこと。」を共有できた。事前課題から事例を選び倫理原則で検討し、発表した。	東江補佐 米分補佐 栗林佑季先生 (こども病院 小児科専門看護師)
10月2日	退院調整・支援	退院支援看護師の役割がわかる 退院調整・退院支援看護の実際がわかる	26	退院調整・支援の実際と当院の退院支援看護師の役割について学んだ。資料を読んだり、お互いに話し合ったりという参加型の講義で、意見交換も活発に行われた。 退院支援・在宅生活のイメージをすることが難しいと思っていたが、生活者としてとらえ関わっていくことの大切さを個々に学んでいた。	高瀬補佐 (退院支援看護師) 松本補佐
10月16日	摂食・嚥下障害看護	摂食・嚥下障害についての知識を深める 摂食・嚥下障害看護について学び、実践の場で活かすことができる	26	①摂食嚥下障害の基本・食事姿勢・嚥下評価について講義を受ける。②ベッド上食事体位・ポジショニング・ゼリー摂取助助のデモンストレーション後、グループで演習する。講義で摂食嚥下障害の基礎の講義、デモンストレーション後の演習であり、食事姿勢や摂取助助方法の根拠と共に技術を学ぶ事ができ、実践で役立つものとなった。新人が今まで気づけなかった視点を持つきっかけとなり、頸部聴診や助助方法のコツや患者心理の理解、経験することによる不安の解消や自信につながった。	繁田補佐 NSTリンクナース
11月13日	褥瘡予防ケア(フットケア)	フットケアの必要性を理解し、基本的なアセスメントやケアの方法がわかる	25	講師を各病棟のリンクNSが実施する事で、フットケアワーキングについて知る事が出来たと考える。また、フットケアの必要性を理解し、基本的なアセスメントやケアの方法がわかるについては、講義で知識を深め、演習で実際に爪切りをする事でケア方法が具体的に学べ目標達成が出来た。	東江補佐 フットケアチーム
11月20日	シミュレーション研修	患者の訴える症状から、必要な観察項目がわかり、自分の判断でできる初期対応ができ、先輩看護師に報告できる。	23	夜間の脳梗塞発症のシミュレーションのシナリオを作成し、シミュレーションを行った。体験後、全員に感想を述べてもらった。積極的にグループワークに参加できていた。シミュレーションに予定より時間を要したが、概ね予定通りに進行出来た。グループごとのデブリーフィングに留まったが全体での振り返りの共有が必要であったのではないかと。SBARの活用について勉強になったとの意見があった。	植野補佐 松本補佐 竹井補佐 阿部補佐 木澤
12月11日	静脈注射(留置針)実施者へのチェック	安全に静脈留置針注射が実施できる	22	実技を実施する前に静脈留置針の取り扱いと穿刺、挿入のデモンストレーションを行った。実技の時に落ち着いて留置針を取り扱えた。テストブラッドキットの演習に時間が押したが指導は丁寧に出来た。研修終了が10分超過したが、血管の選択や、留置針の持ち方、穿刺角度など指導者からの助言を受けて全員成功体験出来た。針刺し防止対策に関しては、留置針のキャップの外し方を最初にデモンストレーションし、演習時にも細かく声掛けをし、針刺し事故を起こすことはなかった。今後は各部署でのOJTで技術を深め、実施評価は各病棟で行ってもらう。	長畑補佐 東江補佐 米分補佐 谷口か補佐 松下 池田
1月15日	1年の振り返り	1年の振り返りを行い、リフレッシュして職場に戻ることができる	23	①一年を振り返りまとめたケース集「あしあと」に目を通し「自分の目指す看護師像」を文章にする。 ②グループワークで「あしあと」の感想と「自分の目指す看護師像」を共有し、なりたい看護師像をまとめる。 ③一年の振り返りDVD鑑賞する。 ④師長からメッセージカードをプレゼントする。 グループワークでは活発な意見交換が行われた。自分の課題を明らかにし、2年目に向けての責任感や自覚を持つことができていた。レポートの書き方について見本を修正した。	阿部補佐 入江補佐 高瀬補佐